

第19回 日本音楽療法学会東北支部学術大会のご案内

大会テーマ 「音楽療法の可能性」

～人と人とのつながりを再考する～

【開催日】 2019年7月14日(日)

【場所】 山形市保健センター(霞城セントラル3F)

〒990-8580 山形県山形市城南町一丁目1番1号 TEL:023-647-2280

JR山形駅より、徒歩3分。アピカ(自由通路)直結。

【プログラム】

7月14日(日)

時間	9:50～10:20	10:20～10:30	10:30～12:00		13:00～14:30		14:45～15:45		16:00～17:30	17:30～17:40
内容	受付	開会式	基調講演	休憩	教育講演	休憩	総会	休憩	講習会	閉会式

※ 講習会は90分の為、申請ポイントは付与されますが、更新ポイントは付与されません。

【講義内容】

◆基調講演 講師 福山 和女氏(ルーテル学院大学名誉教授)

「人の尊厳とソーシャルワーク(対人援助)との関係」

対人援助の方法論であるソーシャルワークを取り上げ、人の理解の仕方に歴史的変遷があったことを考える。対人関係や行動が原因であるとみなし、当事者への問題解決を第一にする考え方から、環境をマクロレベルで捉え、民族、文化、政策、自然環境などが当事者に影響を与えてきたと考え、円環的思考のシステム論へと大きくパラダイムが変換したのである。人と環境との交互作用から人々への援助を計画し、実践することが求められたといえる。

「人の尊厳の保持」の原理は、ミクロだとして軽視されるのだろうか。システム論的思考では、人を援助するには、その人を取り巻く家族、集団、あるいは会社や学校などの組織、その人が住む地域や社会との相互作用や交互作用の事象を十分に理解することが必須となるだろう。個人や家族もそのシステムを構成しているとして、彼らの辿ってきた生きざまを十分に尊厳の保持をして理解することこそ援助の根幹となるべきであると考え。

◆教育講演 講師 生野 里花氏(お茶の水女子大学基幹研究員)

「関係の媒体としての音楽」に視点をおいた音楽療法の展開

～“高齢者の終の住み処”での音楽の役割を考える～

音楽療法の遠景を描くとするなら、そこには音楽をはさんで向き合い、時間を共にする人々が描かれるだろう。もう少し近づいて見てみると…それは、指揮者がさし示す音楽の高みに向かって演奏する人々でもなければ、聴衆席に向けて音楽を届けようとする人々とも違う。音楽療法なのだから、療法士が、対象者の「健康」の道具として音楽を発信している図…なのだろうか？

本講義の実例に引く認知症高齢者は、日本で最も音楽療法実践の拡がっている対象者領域のひとつである。しかしその臨床視点は「心身の諸機能不全の部分的変化」(治療)か「集団に参加して過ごす平穏な時間」(レクリエーション)かに単純化して扱われる傾向にあり、そのどちらにおいても音楽は、「健康をめざすためのゆるぎない道具」として使われている。しかし音楽を「健やかさを模索してゆるぎ続ける関係の媒体」として見るなら、音楽療法はまた違った景色を展開し始めるのではないだろうか。

◆講習会 講師 三宅 博子氏(明治学院大学研究員)

「コミュニティのつながりを問い直すー〈共に〉あるとはどういうことか？」

音楽療法士にとって、対象と真摯に向き合い〈共に〉あるとすることは、専門的技術や知識を積み重ねることと同じくらい本質的なことである。では、〈共に〉あるとは、実際には何をする事だろうか。本講義では、障害のある青年との音楽療法事例と、地域コミュニティ拠点での音楽活動事例を題材に、何に着目し、どう関わりを変化させていったかという試行錯誤のプロセスを共有する。

両事例で、私が最初に経験したのは「わからなさ」の感覚だった。相手が今何を聴き、何を感じ、何をしようとしているのか…。そこから、自分とは異なる背景や価値観を持つ相手がどのように世界を経験しているかを探り、自分の価値観や枠組みが揺さぶられることを通じて、互いの経験を持ち寄って創る「対話」と「協働」を試みてきた。コミュニティ音楽療法や当事者研究など、多様な人々の参加と協働を促進するムーブメントも参照し、人々と〈共に〉ある音楽療法について考えたい。

*** ** 講師紹介 *** **

◆基調講演 福山 和女氏

京都市生まれ

同志社大学大学院(社会福祉学修士1970). University of California, Berkeley(Master of Public Health 1977公衆衛生修士). Catholic University of America(Doctor of Social Work 1998社会福祉学博士). 1964年葵橋ファミリークリニック精神科ソーシャルワーカー・スーパーバイザー、1992年ルーテル学院大学・大学院研究科長・包括的臨床死生学研究科所長を経て、2016年より同大学名誉教授/包括的臨床コンサルテーションセンター長・2019年度より日本福祉大学スーパービジョン研究センター研究フェローを務める。

編著『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョンー支援の質を高める手法の理論と実際』(ミネルヴァ書房 2018). 監修『スーパービジョンインソーシャルワーク』(中央法規出版 2016). 共監訳『統合的短中型ソーシャルワーク』(金剛出版 2014). 編著『ソーシャルワークのスーパービジョン』(ミネルヴァ書房 2005). 共監訳『家族評価』(金剛出版 2001)単著「地域を基盤とした生活困窮者支援における個人, 集団, 家族支援の位置づけ」『精神療法』Vol.42-6, 2016.

◆教育講演 生野 里花氏

1991年米国音楽療法協会認定資格取得後、コロンビア大学教育学部にて修士課程修了。日本での臨床・教育活動を経て、2015年お茶の水女子大学より「音楽による共生ー音楽療法場面の分析と解釈からー」で博士号。現在、同大学基幹研究員、東海大学非常勤講師、野花ひととおんがく研究舎主宰。Voices, A world Forum for Music Therapy 編集委員。著書に「音楽療法士のしごと」、The Lives of Music Therapists: Profiles in Creativity - vol.2 (共著、マホーニー編)、訳書に「音楽療法を定義する」(ブルシア)、「音楽する人間」(ロビンズ)他。

◆講習会 三宅 博子氏

音楽療法、コミュニティ音楽、即興音楽などの領域を行ったり来たりしながら、「多様な人々が共に生きる」ことと音楽との関わりに関心を抱いて実践・研究を行っている。東京都市部にある地域コミュニティの拠点「芝の家」でのオープンワークショップ「音あそび実験室」主宰。音楽療法士グループ「野花の座」会員。日本音楽療法学会認定音楽療法士、兵庫県音楽療法士。2010年、神戸大学より「音楽療法の政治性に関する研究ー〈制度〉と〈生〉の間から」で博士号取得。明治学院大学文学部芸術学科研究員、非常勤講師。

*** ** 申し込み *** **

＜お弁当＞

14日(日)のお弁当(¥700)の注文を承ります。事前にお申し込みください。

＜宿泊について＞

ホテルルートイン山形駅前、山形西口ワシントンホテル、ホテルメトロポリタン山形等、会場付近にあります。

【第19回学術大会参加申し込み方法】

1. 参加費… 東北支部会員 ¥6,000 学生会員 ¥5,000 一般（他支部会員） ¥7,000
※当日申し込み：上記＋ ¥1,000
2. 申し込み方法 … 合計金額（会費、お弁当代）を下記口座に振り込み、（１）（２）のいずれかの方法でお申し込みください。

(1) 日本音楽療法学会東北支部ホームページ <https://jmtathhp.wixsite.com/jmta-tohoku> より、第19回東北支部学術大会をクリックし、参加申込書・受講票用宛名ラベルに記入の上、参加申込書と参加費受領書の写真を添付し、大会実行委員会事務局 Email に送信

(2) 参加申込書・受講票用宛名ラベルに記入の上、参加費受領書のコピーを添付し、「大会実行委員会受付窓口」に郵送

※今大会では、返信用ハガキは同封の必要がありません。

3. 振り込み先 … ゆうちょ銀行 店名：八三八 店番 838 普通預金 口座番号：2548728
名義：日本音楽療法学会東北支部学術大会
(※ゆうちょ銀行からの振り込みの場合 記号：18300 番号：25487281)
4. 申し込み締め切り … 2019年6月28日（金）必着
※ 締め切り以降は、当日申込み料金となります。

5. 申し込み先・お問い合わせ

【郵送申し込み先】

〒993-0042 山形県長井市平山 2260 小笠原方

第19回日本音楽療法学会東北支部学術大会実行委員会受付窓口 宛

【問い合わせ&メール申し込み先】

実行委員会事務局 Email jmta_yamagata2019@yahoo.co.jp

緊急時のみ 携帯 080-6036-7478 （大会専用携帯電話）

※キャンセルについて

- ・キャンセルの受付は **6月28日（金）まで**。（それ以後は返金致しませんのでご注意ください。）
- ・申し込み受付番号、氏名、住所、電話・FAX 番号、返金口座（銀行名、支店名、普通／当座、口座番号、名義、フリガナ）を、メール（実行委員会事務局 Email）または郵送にてご連絡ください。

振り込み手数料を差し引いて返金致します。